

行事一覧

化学と教育は毎月 20 日発行です。73 巻 6 月号に掲載希望の行事原稿は、5 月 15 日までに kakyo@chemistry.or.jp へ。HP のテンプレートをご利用下さい。
<https://www.chemistry.or.jp/journal/post.html>
 本会または本会支部による主催または共催を原則とします。26 字×30 行以内厳守。

開催期日		講演会など開催名（開催地）	掲載号
2025 年			
6 月	7 日(土)	第 27 回 近畿地区 化学教育研究発表会（大阪）	73 巻 2 号
	28 日(土)	東京科学大学（Science Tokyo）で過ごす化学な週末 2025（東京）	本号
7 月	～11 月	化学への招待（東北支部第 357 回）	
		小中学生のための化学実験講座 一訪問実験一（山形）	本号
7 月	～2026 年 3 月	2025 年度 REHSE「高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」参加校募集（東京）	本号
8 月	5 日(火)	少年少女のための見学会 2025	
		一未来を創る素材を見て、触れて、体験しよう！一（神奈川）	本号
9 月	6 日(土)～7 日(日)	令和 7 年度化学教育研究協議会東北大会（山形）	本号

◆東京科学大学（Science Tokyo）で過ごす化学な週末 2025

主 催 日本化学会関東支部
 会 期 6 月 28 日(土) 13 時～16 時
 会 場 東京科学大学 大岡山キャンパス 西 9 号館デジタル多目的ホール（東京都目黒区大岡山 2-12-1）〔交通〕東急大井町線・目黒線「大岡山」駅から徒歩 3 分

参加申込締切 6 月 23 日(月)ただし定員（100 名）になり次第

内 容 2024 年 10 月に東京科学大学が誕生しました。大学の理念である「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探究し、広く化学に関連する最先端研究を行っている 4 名の研究者による講演会を開催します。大学主催のオープンキャンパスと異なり、化学に特化して幅広い分野の研究を知る絶好の機会です。「大学で化学を学んでみたい」、「東京科学大学の化学関連の研究をまとめて聞きたい」、「研究者と直接話してみたい」、「大学の施設を見学してみたい」という方は、ぜひご参加下さい。

講演：

1. 開会挨拶 日本化学会関東支部・支部長／東京科学大学・教授 金原数
2. 講演 1（理学院化学系教員）
3. 講演 2（生命理工学院生命理工学系教員）
4. 講演 3（物質理工学院応用化学系教員）
5. 講演 4（総合研究院 生体材料工学研究所教員）
6. 座談会・施設見学等

対 象 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料（事前登録要）

参加申込方法 下記の関東支部 HP からお申込み下さい。

<https://kanto.csj.jp/>

◆化学への招待（東北支部第 357 回）小中学生のための化学実験講座 一訪問実験一

主 催 日本化学会東北支部、鶴岡工業高等専門学校創造工学科

後 援 山形県教育委員会、鶴岡市教育委員会

会 期 7 月から 11 月（日程については相談の上決定します）

会 場 山形県内各児童館、小学校、中学校（20 校程度）他

参加申込締切 6 月 30 日(月)ただし定数になり次第締切

内 容 1. 温度で色が変わる人工イクラを作ってみよう。2. スライムカーボン電池でオルゴールをならしてみよう。3. 紙オムツの謎（高吸水

性高分子）。4. 刑事ドラマに出てくるルミノール化学発光について知ってみよう。5. カラフルな人工イクラを作成してみよう。6. オリジナルレインボースコープを作って光の成分について学ぼう。7. 暗やみで光る生分解アクセサリーを作って光る仕組みについて考えてみよう。8. あなたが被験者（目の仕組み）。9. 虹色に輝く高分子液晶。10. 果物の香りをつくる。11. 野菜の中に含まれてる DNA を取り出してみよう。12. スライムからスーパーボールを作ろう。13. 酵素の働きと性質。最新テーマにつきまちは鶴岡高専の HP に随時掲載していきます。担当者が中学校に出向き、上記のテーマ等で児童・生徒に直接実験を指導します。実験器具類も主催者で用意します。授業時間の 50 分間で実施することや他のテーマを実施することも可能ですので、お気軽にご相談下さい。

対 象 山形県内の小中学生

参加費 無料

参加申込方法 「小中学生のための化学実験講座申込」と題記し、1. 担当責任者氏名・同フリガナ、2. 学校名・学年、3. 参加者数、4. 希望日時（第 3 希望まで）、5. 希望テーマ（第 3 希望まで）、6. 連絡先（郵便番号・住所・電話番号・FAX 番号）を明記の上、FORMS（<https://forms.office.com/r/fH0iRNq1A5>）よりお申し込み下さい。

申込先 997-8511 鶴岡市井岡字沢田 104 鶴岡工業高等専門学校企画連携係 担当：創造工学科化学・生物コース 上條利夫 電話（0235）25-9453 E-mail：kamijo@tsuruoka-nct.ac.jp

◆2025 年度 REHSE「高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」参加校募集

★産業界の支援による産学連携の事業です

★高校生の主体性・探究への意欲を応援します

主 催 特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会（REHSE）

共 催 日本化学会

活動期間 2025 年 7 月～2026 年 3 月

参加申込締切 2025 年 6 月 14 日(土)

内 容 高校生自らが環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め、調査・研究を行い、報告書としてまとめる活動を支援するとともに、口頭発表および大学等の施設見学をする機会を提供します。具体的な支援として、研究活動費の支給、専門家による研究活動への助言、3 月に東京大学で開催される成果発表会（口頭発表）や研究施設見学会への招待などをいたします。詳しくは REHSE の HP（<https://rehse2007.com/index.html>）「高校生の自主研究活動支援」をご覧ください。

html）「高校生の自主研究活動支援」をご覧ください。

対 象 高校生、高等専門学校の学生（3 年生まで）

支援内容 研究活動費と 3 月の成果発表会等への参加費（1 校 3 名程度（引率教員含む）の交通費および宿泊費）の支給

参加申込方法 REHSE の HP「高校生の自主研究活動支援」のページに、参加申込書のフォーマットがありますので、それらに必要事項を記入して下記申込先に E-mail にてご提出下さい。審査後に採択の結果についてご連絡いたします。

申込・問合せ先 REHSE 高校生自主研究活動支援事務局電話（080）4383-2007 E-mail：koukousei@rehse2007.com

◆少年少女のための見学会 2025 一未来を創る素材を見て、触れて、体験しよう！一

主 催 日本化学会関東支部

会 期 8 月 5 日(火) 10 時～12 時

会 場 AGC 横浜テクノカルセンター（神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-1）〔交通〕JR 鶴見線「弁天橋」駅より徒歩 3 分

参加申込締切 7 月 11 日(金) 定員 30 名（保護者を含む）※定員を超過した場合は抽選

内 容 AGC 横浜テクノカルセンターは、最先端の技術開発とイノベーションの拠点です。ここでは、ガラス、電子、化学品、ライフサイエンス、セラミックスなど、様々な分野の研究開発を行っています。見学会当日は、オープンイノベーションを進めるための協創空間「AO（アオ/AGC OPEN SQUARE）」をご案内します。① AO Park ではこれまでの歩みや最新トピックスの展示、② AO Studio では最先端の素材、技術や機能に触れ、③ガラスの溶ける熱量を感じられるデモ（当日は動画視聴）も見学できます。素材や技術を生かした展示を通じて、新たな発見につながることを期待しています。

対 象 小学校 5、6 年生、中学生

参加費 無料

参加申込方法 下記の関東支部 HP からお申込み下さい。

<https://kanto.csj.jp/>

◆令和 7 年度化学教育研究協議会東北大会

主 催 日本化学会東北支部 東北支部化学教育協議会

共 催 高等学校文化連盟全国自然科学専門部

後 援 東北 6 県の県教育委員会 米沢市教育委員会

会 期 9月6日(土)~7日(日)
会 場 対面開催：山形大学米沢キャンパス（山形県米沢市城南4-3-16）〔交通〕<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/access/#yone>
参加申込締切 8月15日(金)
内 容 化学，理科教育に関する研究，教育実践例，教育に関連する諸問題，教材展示など幅広い発表を歓迎します。
講演等 特別講演 招待講演 口頭発表 ポスター発表

発表募集 口頭発表 ポスター発表（ポスター賞あり）
対 象 会員に限らず，学校教員，高校生，大学生，一般の方が参加・発表できます。特に高校生の参加を歓迎します。
参加費 〔事前登録〕一般：4,000円，教育会員・大学院生：2,000円，小・中・高教員・高校生・高専生・学部生：無料
〔当日登録〕一般：5,000円，教育会員・大学院生：3,000円，小・中・高教員・高校生・高専

生・学部生：無料（いずれもweb予稿集代を含む）
参加申込方法 下記の東北支部HPにて案内（4月上旬予定）
申込先 980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
東北大学理学部化学科内 公益社団法人日本化学会東北支部事務局（担当：千葉・熊谷） 電話／FAX (022) 224-3883 E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp <https://tohoku.chemistry.or.jp/>

求人

求人欄への掲載については，本会ホームページ <https://www.chemistry.or.jp/journal/ce-kyujin.html> をご参照下さい。
本会は，求人欄に掲載された内容に対する一切の責任を負いません。

求人欄への投稿について

①原稿締切日と掲載月

原稿締切日は毎月末日です。前月1日から末日までの投稿原稿は翌々月号（20日発行）に掲載されます。
例）1月末日締切 → 3月号

②制限字数 26字×15行（表題含む）

【掲載料金】

中高大学官公庁	無 料
法人正会員	15,000 円
法人会員外	30,000 円

注意：制限字数以内に原稿を作成して下さい。

③原稿作成と投稿方法

(1) テンプレートを使用し原稿を作成し，E-mail で投稿して下さい。

(2) 原稿作成上の注意

A) 数字，英文字は半角で入力して下さい。

B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存しているため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

・半角カナ；ｱｶｶﾅ，機種に依存した記号

・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ，丸数字；①②③④

※文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。

※組文字は全角(株)(有)mmでの表記にする。

C) 原稿の字数が限られております。必要事項は必ず記載し，詳細はURLアドレスなどを掲載し，できるだけ簡素に作成して下さい。

【必要事項】

・表題 ・募集人員 ・専門分野 ・応募資格 ・着任時期，任期
・提出書類 ・応募締切 ・書類送付先 ・問い合わせ先

D) 平成17年10月より雇用対策法が改正され，募集年齢制限が禁止されております。原稿内に募集年齢を記載することが原則できませんのでご注意ください。

E) テキスト上で表現できない文字（外字，作字）については人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合以外は使用を避けて下さい

(3) 投稿前に原稿の字数を必ず確認して下さい。

④投稿された原稿は，掲載月と同月に本会ホームページ会誌・図書「化学と教育」内の関連リンク「最新の求人」に同様の原稿がPDF版として公開されます。

⑤本会は求人欄の機密は厳重に守ります。なお，求人欄を利用された結果に対する一切の責任は負いません。

⑥投稿・問合せ先

日本化学会学術情報部「化学と教育」誌事務局

E-mail: kakyo@chemistry.or.jp